

2010年4月21日

「Zaimon[®] e-Tax データ受付サービス」と「CASTER[®]」 相互接続による情報連携機能を構築開始

～金融庁 EDINET の XBRL データ対応も検討開始～

株式会社NTTデータ
三井情報株式会社

株式会社NTTデータ(以下、NTTデータ)と三井情報株式会社(以下、MKI)は、企業が e-Tax の電子申告データを金融機関に送信できる ASP サービス「Zaimon[®] (ザイモン) e-Tax データ受付サービス」(NTTデータ提供)と、多数の地域金融機関で利用されている経常収支比率を中心とした分析手法を使用した企業財務分析システム「CASTER[®]」(MKI 提供)の、相互接続による情報連携機能の構築を開始しました。

本連携により、「CASTER」を導入している金融機関において「Zaimon e-Tax データ受付サービス」から取得したデータを容易に利用できるようになり、e-Tax で税務申告を行う企業と、企業の財務分析を行う金融機関の、それぞれの業務効率の大幅な向上とペーパーレス化促進が見込めます。また、本連携と並行して、金融庁 EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)に掲載される公開企業の XBRL データについても、同様に入手できる仕組みの検討も開始します。

連携機能の提供開始は 2010 年度下期を目指しており、本日より連携機能の導入に向けた金融機関からの受付を開始します。

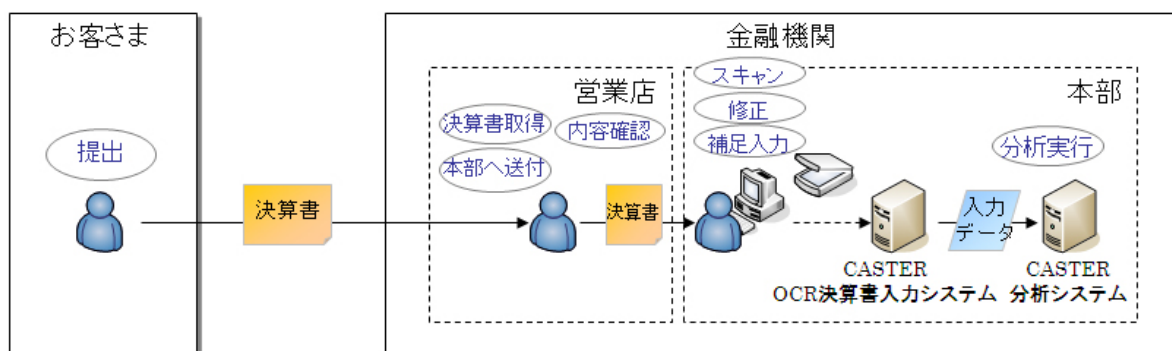
【相互連携の概要】

「Zaimon e-Tax データ受付サービス」は、企業が e-Tax(国税電子申告・納税システム)に提出した電子申告データを、Web サイト上から企業または、企業の税務申告を代理する税理士の送信指示により金融機関が受け付け、融資審査業務などに活用するための ASP 型サービスです。本サービスを利用することで、企業は e-Tax へ送信した電子申告データを Web サイト上の簡単な操作でそのまま金融機関に送信することができ、金融機関では信頼性の高い情報を入手し、融資審査業務等に役立てることができるようになります。

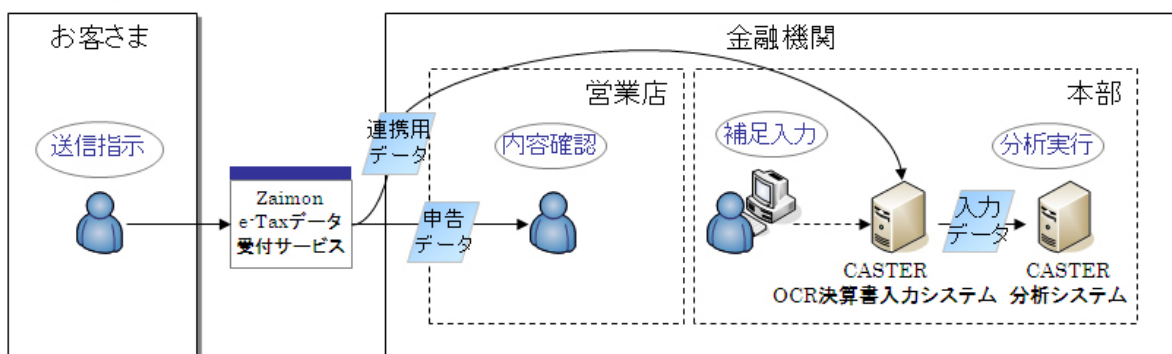
「CASTER」は、経常収支比率を中心とした分析手法を使った企業財務分析システムで、現在、地方銀行を中心に約 170 の金融機関への導入実績を誇るパッケージシステムです。企業の財務データを中心とした財務分析と実数分析とに基づいて企業の信用状態をできるだけ正確に把握し、あわせて安全性分析、粉飾チェックなどによって企業業績の評価と診断を総合的に行うことができます。

それぞれのサービス・システムに対して、情報連携に必要な機能を追加します。NTT データは「Zaimon e-Tax データ受付サービス」に、サービスを介して金融機関に提出される法人税申告書などのデータのうち、決算書に相当する部分のデータ形式を変換し、連携用データとして「CASTER」へ提供する機能を追加します。三井情報は「CASTER OCR 決算書入力システム」に連携用データを読み込み、財務分析用科目に変換するための機能を追加します。

【従来】



【導入後】



【連携機能利用によるメリット】

(金融機関のメリット)

- ①「Zaimon e-Tax データ受付サービス」を介して e-Tax からダウンロードしたデータを「CASTER」で直接利用することが可能になり、真正性の高い(税務申告に利用されたものと同一の)データを利用することができます。
- ②「CASTER」では従来、紙に印刷した決算書を OCR 処理しデータ化する必要がありましたが、連携機能の利用によって資料授受、スキャナーでの読み取り作業の削減ができ、また、スキャナーで決算書を読取る場合に比べて誤字などの修正、CASTER 科目への紐つけなどの作業負荷が軽減するなど、効率的なデータ処理が可能となります。

(企業などのメリット)

企業では、税務申告時に e-Tax を利用しつつも、金融機関向けに印刷資料を提出しなければならない場合があります。「CASTER」を導入済みの金融機関で「Zaimon e-Tax データ受付サービス」の導入が進めば、企業は e-Tax に提出した申告データを、Web サイト上の操作でそのまま金融機関に提出することができるようになり、業務の効率化と紙の削減につながります。

【連携機能の提供予定時期】

2010 年度下期の連携機能提供を予定しています。

なお、システム対応が必要となることから、2010 年 4 月 21 日から連携機能導入に向けた金融機関からの受付を開始します。

【今後の予定】

金融庁 EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)に掲載される公開企業の XBRL データについても、同様の仕組みで入手できないかとの要望があり、両社では今後、これに対応する検討を進めます。

EDINET を用いて有価証券報告書等を提出する企業には、2008 年 4 月以降に開始した事業年度分から XBRL 形式で作成した財務諸表データを提出することが求められており、これらのデータは EDINET の Web サイトで公開されています。

NTTデータは対象となるデータを定期的に取得し、所定の形式に変換したファイルを「Zaimon e-Tax データ受付サービス」を介して金融機関に提供し、金融機関は取得したファイルを「CASTER」に投入することで、従来のスキャナーによる読み取りなどの作業が不要となり、公開企業のデータを正確かつ容易に分析することができるようになります。

※「Zaimon e-Tax データ受付サービス」について

2008 年 6 月 2 日より三井住友銀行をファーストユーザーとしてサービスを開始し、現在ではみずほ銀行、埼玉りそな銀行、足利銀行、西日本シティ銀行において利用されています。

※「CASTER」について

「CASTER」は、地方銀行、信用金庫を中心とした金融機関に於いて、事実上の標準的な財務分析システムと評価をいただいております。格付・自己査定システム、融資支援システム等、金融機関の融資先財務に関するシステム全般の入口となるシステムとして、必要欠くべからざるシステムとして位置付けられています。なお、「CASTERⅢ」では、新会計制度対応の機能を充実させた他、個人事業主用の科目にも対応しています。

※「Zaimon」は、日本国内における株式会社NTTデータの登録商標です。

※「CASTER」は、三井情報株式会社の登録商標です。

※その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

<p>■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社NTTデータ 広報部 杉山 Tel:03-5546-8051</p> <p>三井情報株式会社 経営企画部 コーポレート・マーケティング室 酒井 Tel:03-6376-1008</p>	<p>■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 [「Zaimon e-Tax データ受付サービス」に関して] 株式会社NTTデータ 金融 IT サービス事業部 有田 Tel:050-5546-2717</p> <p>[「CASTER」に関して] 三井情報株式会社 ビジネスソリューション事業本部 金融営業部 営業二室 中川 Tel:03-6376-1114</p>
--	--